

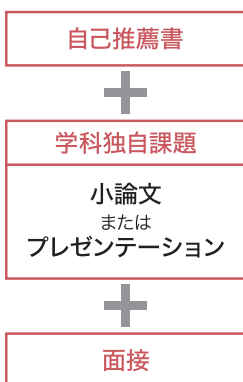
心理学科

■アドミッション・ポリシー

心理学科は、カリキュラム・ポリシーで定める教育内容を全うし、ディプロマ・ポリシーで定める基準に達する見込みがある者として、次のような人物を求める。

知識・技能	●人間の心理や行動に関心を持ち、客観的に探究することに関心のある人。 ●高等学校で習得するレベルの基礎的学力を身につけている人。
思考力・判断力・表現力等の能力	●物事を一面的に判断せず、論理的・多面的に考えようとする人。 ●自らの考えを積極的に表現すると同時に、他者の考えを柔軟に聞き取ることのできる人。
主体性・多様性・協働性	●自ら課題を見出し、主体的に解決するための努力を惜しまない人。 ●社会のさまざまな立場の人とコミュニケーションを図ろうと努め、共感する力を持っている人。 ●他者と協働してさまざまな課題に取り組むことができる人。

選考方法



学科独自課題

小論文

心理学に関連した資料に基づき内容を要約し、小論文を作成してください。

- ・内容要約は問題用紙の回答欄に記入します。
- ・小論文は800字以内とします。

プレゼンテーション

心理学と関連するテーマを扱った探究学習(総合的な探究の時間)の成果報告(発表8分、質疑応答10分)

※探究学習成果報告書を自己推薦書と合わせて出願時に提出のこと。

探究学習成果報告書の書式は自由とする。ただし、探究学習成果報告書の表紙は大学指定のものを用いること。

表紙は本学ホームページからダウンロード可能です。(本学ホームページ→入試情報サイト→書類ダウンロード・印刷)

[プレゼンテーション資料について]

- ・プレゼンテーションの形式は問わない(Microsoft PowerPoint、紙媒体、その他)。当日持参する。
- ・プレゼンテーション用のファイルを用いる場合は、Microsoft PowerPointまたはPDFで作成し、USBメモリに保存の上、試験会場に当日持参する。万一の場合に備えて、A4サイズに印刷したものを2部持参する。
- ・使用可能なPCはWindows10、コネクタはUSB Type-Aに限る。
- ・試験監督者への資料配布は任意とする。配布する場合は2部持参する。

評価ポイント

自己推薦書

- ・心理学科における学び・取り組みに主体的に関わろうとする意欲が明確である
- ・心理学科のアドミッション・ポリシーと関連づけて、心理学科における学び・取り組みにどのように関わろうとするのかを具体的に説明している
- ・自らアピールしたいことを具体的に述べている

学科独自課題

- 小論文
 - ・人間の心理や行動への関心を探究する意欲がある
 - ・試験当日に配布する、人間の心理や行動に関する資料の要点を的確に理解し、それを分かりやすく文章で説明できる
 - ・社会のさまざまな課題に関する自らの考えを論理的に文章で表現できる

●プレゼンテーション

- ・人間の心理や行動への関心を探究する意欲がある
- ・探究学習におけるテーマ・課題を設定したねらい・目的が明確である
- ・探究学習における取り組みが主体的である
- ・探究学習の成果を具体的に分かりやすく表現している
- ・探究学習の成果発表への質問・意見に対して、誠実に対応している

探究学習成果報告書(自己推薦書と一緒に、出願時に提出)

- ・人間の心理や行動への関心を探究する意欲がある
- ・探究学習におけるテーマ・課題を設定したねらい・目的が明確である
- ・探究学習における取り組みが主体的である
- ・探究学習の成果を具体的に分かりやすく表現している
- ・質疑に対する的確な応答ができています

面接

- ・人間の心理や行動への関心が明確である
- ・自らの考えを明瞭に表現している
- ・他者の考えを柔軟に聞き取ろうとしている
- ・社会のさまざまな立場の人々と積極的にコミュニケーションを図る意欲がある
- ・他者と協働して、さまざまな課題に主体的に取り組もうとする意欲が明確である